



HPはこちら

新幹線統括本部より4件の提案を受ける

東日本ユニオンは1月23日、新幹線統括本部より「2024年度新幹線総合車両センター業務計画について」をはじめとする計4件の会社提案を受けました。

2024年度新幹線総合車両センター業務計画について

新幹線総合車両センターでは、2023年度は定期検査を確実に実施するとともに、E956形新幹線電車の全般検査の施行、仕業検査の業務委託等の各種施策、E8系新幹線電車の営業投入に向けた準備等に積極的に取り組んできた。2024年度は安全安定輸送の確保を大前提としながら、E8系台車検査入場に向けた準備等を推進し、変化の大きい社会環境の中でも新幹線電車のメンテナンスを持続的に実施していくためグループ全体で連携して業務を遂行していく。

○定期検査工事計画

(1) 全般検査・台車検査

形式	2024年度 検査両数			＜参考＞ 2023年度計画		
	全般検査	台車検査	計	全般検査	台車検査	計
E2系	0	50	50	56	10	66
E3系	10	21	31	40	14	54
E5系	201	200	401	162	240	402
E6系	65	56	121	62	35	97
E7系	172	180	352	130	156	286
E8系	0	7	7	0	0	0
E926形	0	0	0	0	6	6
E956形	0	0	0	10	0	10
合計	448	514	962	460	461	921

(2) 交番検査（担当編成数）

E5系 26編成、E926形 1編成、956形 1編成

○主な改造工事

台車モニタリング改造工事 397両

○車両計画（新造投入・用途廃止）

(1) 投入計画 E8系 35両

(2) 廃車計画 E2系 40両、E3系 49両

○実施期日

2024年4月1日

○業務等の見直し

(1) 品質管理科体制の変更

- ・品質管理科ネットワーク担当へのフレックス
タイム制導入
- ・保全革新技術センターの発展的解消

(2) 検査工程改善に向けた試行実施

- ・全般検査 450両/年施行に適合した工程への変更を2025年度に実施予定
- ・E7系台車検査 2日×2回/編成→3日×1回/編成に向けた試行

(3) 在来線車両部品の検修を受託

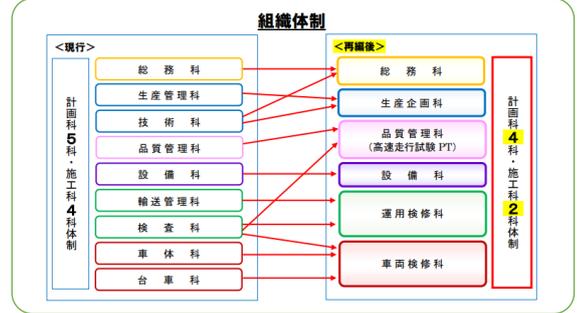
新幹線総合車両センター組織再編について

新幹線電車のメンテナンスを持続的に実施していくため、新幹線総合車両センターの組織を再編する。

○実施事項

現在の9科体制から6科体制へ組織再編を行う。

- ・生産管理科と技術科を統合して生産企画科を発足（一部の技術科業務は総務科へ移管）
- ・高速走行試験 PT を検査科から品質管理科へ移管
- ・輸送管理科と検査科（交番検査）を統合し運用検修科を発足
- ・車体科、台車科及び検査科（落成検査）を統合して車両検修科を発足



○実施時期 2024年6月1日

新幹線総合車両センター業務の一部委託について

新幹線電車のメンテナンスを持続的に実施していくため、新幹線総合車両センターの一部業務を委託する。

○実施事項

台車科における以下の業務を部外委託する。

(1) 車輪圧入

◇新車輪・中古車輪格納及び前作業、廃車輪整理、車輪選定、車軸外径測定、車輪外観確認、車輪圧入、圧入後状態確認

(2) 輪軸検圧、軸受隙間測定及び調整

(3) 車輪削正、駆動装置低速フラッシング

◇車輪削正、各種輪軸寸法測定（車輪内面距離、内面／路面振れ、フランジ厚さ／高さ、車輪径）、駆動装置低速フラッシング

○実施時期

(1) は2024年6月1日、(2) は2024年8月1日、(3) は2024年10月1日

○委託予定先

J R東日本テクノロジー株式会社

新潟新幹線車両センター業務執行体制の見直しについて

新幹線電車のメンテナンスを持続的に実施していくため、新潟新幹線車両センター業務執行体制の見直しを行う。

○実施事項

交番検査における作業工程や作業分担等を見直し、業務執行体制を変更する。

<体制> E2系の検査体制を14名から11名にする。

○実施時期

2024年4月1日

社員の安全と働きやすさと共に、新幹線車両の安全と品質向上をつくりだそう！